

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
FMD News Vol.77をお届けいたします。

YouTube



FMD
OWNER'S CLUB



3月のTOPICS

■ 血管内皮機能と脳血管疾患、認知症の関係

今月は STROKE 2022 が大阪国際会議場で開催されることもあり、血管内皮機能と脳血管疾患、さらに認知症との関係についてご報告いたします。

<脳血管疾患と FMD>

J Am Coll Cardiol 2008;51:997-1002.

54 歳 ±6 歳の閉経後の女性 2,264 人を対象に前向き研究を実施しました。フォローアップの期間は 45±13 か月 (6 ~ 65 か月の範囲) でした。

観察中に 90 件のイベントが発生しました。FMD の高 (≥8.1%)、中 (4.6 ~ 8.0%)、低 (≤4.5%) の三分位で評価した結果、FMD ≥8.1% を基準とした場合の一過性脳虚血発作 (TIA) の相対リスク値は、それぞれ 1.0、6.6、16.3 (p < 0.0001)、脳卒中の相対リスクは、1.0、2.7、3.4 (p < 0.01) でした。

<脳小血管疾患と FMD>

Hypertens Res. 2015 Apr;38(4):291-7.

白質病変 (WML)、ラクナ梗塞、脳微小出血 (CMB) などの脳小血管疾患は、認知機能障害を引き起こすことが知られ、大脳小血管疾患の患者は、脳卒中再発のリスクが高く、脳卒中の転帰が不良です。

重度の WMLs 及び CMBs の存在を予測する FMD の最適なカットオフ値は 3.9% 及び 3.7% であり、多変量ロジスティック解析では FMD < 4.0% (オッズ比 9.50; 95% 信頼係数 3.55 28.83) が重度 WMLs と独立して関連していました。また、FMD < 3.8% (5.82; 2.23 から 16.50) で CMB の存在と関連していました。FMD によって評価される内皮機能障害は、脳小血管疾患の重症度を予測することができます。

<認知症と FMD>

Am J Alzheimers Dis Other Dement. 2016 Aug;31(5):437-42.

アルツハイマー病 (AD) または血管性認知症 (VaD) のいずれかの臨床的および放射線学的診断を受けた患者の血管機能を調査し、血管機能と認知状態との関係を調査しました。AD 27 人、VaD 23 人、およびコントロールの 26 人は、血管内皮機能検査 FMD、足首上腕血圧比 (ABI)、心臓足首血管指数 (CAVI)、および頸動脈 IMT を測定しました。FMD は、AD または VaD の患者では対照と比較して有意に低かった。3つのグループ間で ABI、CAVI、または IMT に有意差はなかった。ミニメンタルステート検査 (MMSE) スコアと FMD の間に有意な相関が見られました。重回帰分析により、FMD が MMSE スコアの予測因子であることが明らかになりました。